



# 市史へんさん

第277号

令和4年4月1日  
小松市史編纂担当  
へんさんだより

4月は新年度の始まり。人事異動や入学式、入社式があり、気持ちの改まる時期です。今年は今和4年ということで、4月4日は「4」が並びます。「4(し)」と「4(し)」が合わさることから、4月4日は、『し合わせ(幸せ)の日』と云われています。3月3日の女兒の節句と5月5日の男児の節句の間の4月4日であることから男子と女子が歩み寄った日とも云われ、「子(し)」が合わさるから『幸せの日』とする諸説もあります。

コロナ発症から3回目の春を迎え、まだまだ加速の止まない状況下にあります。幸せ多き、希望に膨らんだこの好時期に、少しでも収束に近づけるよう、皆さんで心掛けていきましょう！

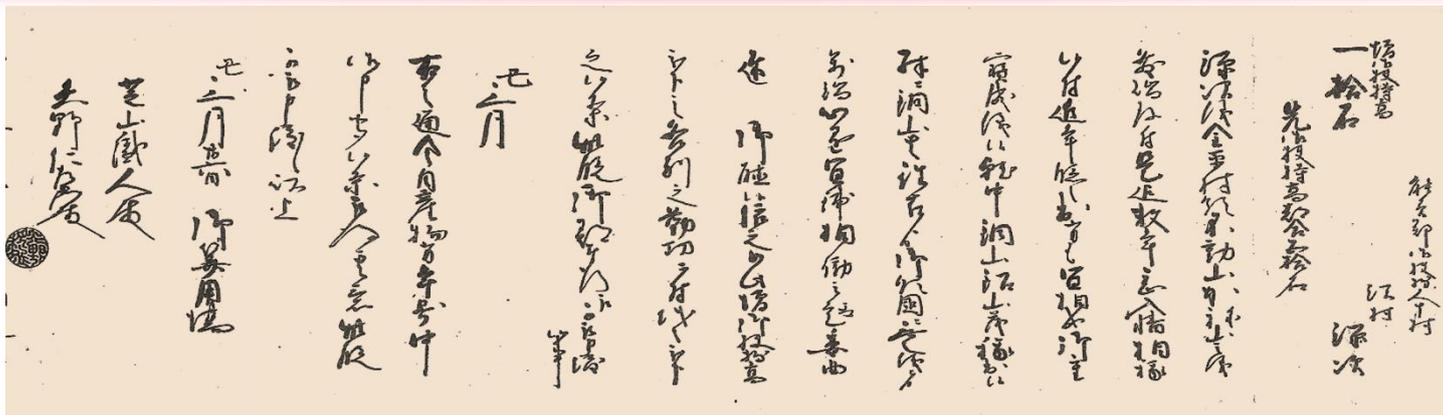
## 第97・98回 市史講座 古文書講座

3回シリーズの古文書講座では、1回目に、武家文書から基礎的なくずしを学びました。2回目からは、地元の文書である安宅町文書や市指定文化財である石黒家文書を取り上げました。2回目以降は、地元史料から伺える当時の町・村の様相や時代的背景についても探りました。

安宅町は、海運業の発展と共に、正徳3年(1713)に村から町立した湊町です。そのため、海運関係の文書が豊富にあり、安宅町ならではの役職が記された文書を紹介し、海運業の様子的一端に触れました。その役職は、「潤改役(ウマアラタメク)」と言い、湊に入った船から入港料を取ったり、荷物を検めたりする役目を担っていました。

石黒家は十村(トム)役にあった家で、前田家の治世下、30~40か村を組として束ね、その組の統括者が「十村」でした。田畑を開拓したり、金山(文書では「かね山」と記載)、銅山、鉛山を発見するやその経営に当たり、幕府からは朝鮮人参栽培の御用を承るなど多彩な方面に活躍し、金平村一帯を治めていました。

下の古文書は、その金山を始めとする鉱山発見の勤功に、扶持高を加増してほしいと十村役の源次(七代目)が願ひ出て、御算用場から産物方年寄中に申し渡したとの返事が記された文書です。「丑三月」は天明元年(1781)の3月です。3回目の講座資料ですので、かなり字体がくずれていますが、読み解きに挑戦してみましょう!!



能美郡御扶持人十村  
源次  
一拾石  
先御扶持高都合五拾石

源次儀金平村領不動山かね山之儀  
發端存付是迄数年甚入情相稼  
候付近年段々出方も宜相成御重  
寶成儀候就中銅山鉛山茂稼出候  
殊二銅山者往古方御領國二無之儀方  
萬端心懸宜鋪相働之趣委曲  
達 御聽候依之如此増御扶持高  
被下之各別之勤功二付代々被下  
之候条此段御郡奉行江可被申渡  
候事  
丑 三月

三月廿六日 御算用場  
芝山織人殿  
矢野仁左衛門殿(印)

能美郡御扶持人十村  
沢村 源次

増御扶持高  
一拾石  
先御扶持高都合五拾石  
源次儀金平村領不動山かね山之儀  
發端存付是迄数年甚入情相稼  
候付近年段々出方も宜相成御重  
寶成儀候就中銅山鉛山茂稼出候  
殊二銅山者往古方御領國二無之儀方  
萬端心懸宜鋪相働之趣委曲  
達 御聽候依之如此増御扶持高  
被下之各別之勤功二付代々被下  
之候条此段御郡奉行江可被申渡  
候事  
丑 三月

右之通今日産物方年寄中  
御申聞候条被得其意此段  
可被申渡候以上  
丑  
三月廿六日 御算用場  
芝山織人殿  
矢野仁左衛門殿(印)

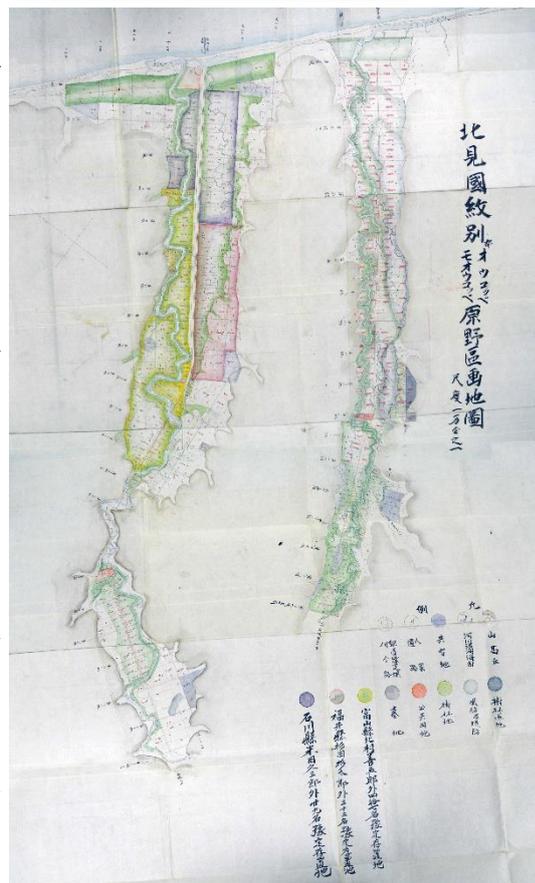
## 『新修 小松市史 資料編 18 近現代』第8章の見どころ

小松市域から国内外に移民した市民は多く、成功事例も数多く報告されている。今回の『近現代編』では、国内は北海道、国外ではブラジルを対象を絞り、史料を紹介する。

北海道開拓を進めるため、明治政府は道庁設置後の明治19年(1886)に移住奨励策を本格化した。同30年には、開墾成功後の土地を無償で付与することを規定したことから、団体移住者が急増した。

ちょうどこの時期、市域では、同29年に起こった大水害がもとで、田畑に被害を受け、農地取得のため、北海道に渡る契機となった。牧村の米田久三郎は、先に個人で渡道し、成功した元角仁松の勧めで、興部の(ワッペ)に移住し、製材・酪農など地域産業を牽引して、町発展の礎を築いたとして敬われている。右は当時の興部の原野区画地図である。

一方、独立自営を夢見て、海外へ移民するケースも多く、石川県初のブラジル移民は、大正6年(1917)であった。小松市域では、同年6月、西尾村の安田安兵衛ら3家族を始めに43家族が移住している。西尾村は同6・7年と昭和5年(1930)をピークに29家族、村全体では2/3を占める移民家族を送り出した。移民第一団は風土の違いや作物市況の低迷に苦難続きであったが、適地適作を求め、コーヒーや畑作物、果実栽培、養鶏、養魚に手腕を発揮し、事業を軌道に乗せた。この成功事蹟を史料として紹介し、故郷に寄せる移民の心情も伝えている。



興部原野区画地図 (北海道大学附属図書館蔵)

### <3月の活動状況>

- ・ 3月 1日(火) 小学校沿革誌資料調査
- ・ 3月 5・13日 第97・98回市史講座「古文書講座」
- ・ 3月 6・11日 『通史編』資料撮影(近世史料館他)
- ・ 3月 10日(木) 小松城関係資料調査(市立博物館)
- ・ 3月 11・12日 近現代文学関係資料調査
- ・ 3月 12・13・18日 通史(生活文化)関係資料調査

『新修 小松市史 資料編 18 近現代』DVD付  
定価：5,100円  
販売所：市史編纂担当・うつのみや・明文堂書店



### <4月の活動予定>

- ・ 4月初旬 『通史編』関係資料調査(県庁他)

### <4月のカレンダー> 開室時間 10:00~17:00(火~金)/9:00~17:00(土)

| 日曜日  | 月曜日  | 火曜日  | 水曜日  | 木曜日  | 金曜日 | 土曜日 |
|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 3/27 | 3/28 | 3/29 | 3/30 | 3/31 | 1   | 2   |
| 3    | 4    | 5    | 6    | 7    | 8   | 9   |
| 10   | 11   | 12   | 13   | 14   | 15  | 16  |
| 17   | 18   | 19   | 20   | 21   | 22  | 23  |
| 24   | 25   | 26   | 27   | 28   | 29  | 30  |

\*      は市史編纂担当の事務局は閉室しています。

小松市史編纂担当 (小松市立図書館 2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail [hensansitu@city.komatsu.lg.jp](mailto:hensansitu@city.komatsu.lg.jp)
- ・ URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

